

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	森林管理促進事業			事業番号	23-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	石田康弘	農業振興課農林整備担当	佐野直希	

計 画 (P l a n)					
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる	
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
予算事業名	林業基盤整備事業費 森林管理事業費				
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前 ～		終了年度	—
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱(水源の森林づくり協力協約事業、水源環境保全・再生市町村補助金事業)				
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、神奈川地域森林計画			計画期間	平成23年度～
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画、第3期水源環境保全・再生市町村5か年計画			計画期間	平成23年度～
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	水源の森林エリア内の高齢級の間伐、枝打ちなど、森林の適正な整備及び保全を行っていかなかで、施業着手が困難な状況にある森林が散見されるため、施業に必要な作業路網の整備を推進していく必要があります。 また、市内では野生動物が頻発に出没し集落に悪影響を与えているため、水源涵養機能の向上とともに野生動物の出没を抑制する狙いから、集落周辺の荒廃した森林を整備する必要があります。				
目 的 (何をどうしたいのか)	森林の荒廃を防ぎ森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、作業路の整備など、継続的な森林整備を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	民有林				
事業内容 (手段、手法など)	・作業路網の整備を行います。 ・協約締結地の森林整備(間伐・枝打)を行います。 ・集落周辺(大山地区・比々多地区)の森林整備(間伐・枝打・除伐等)を行います。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度		令和4年度	
		作業路の整備		工事	
		協約締結地の森林整備		間伐・枝打	
		集落周辺の森林整備		間伐・枝打・除伐・つる切り	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	作業路の整備延長	L=980m (令和2年度)	L=700m	L=550m	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。		
実施方法 〔選択・記入〕	☐ すべて直接実施 ☒ 左記以外		
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者
	☒ 補助金		補助先
	☒ その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	作業路の整備	工事	
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	
	集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・丸太筋工	
実施した取組の内容	・作業路L=770mの整備を実施しました。 ・協約締結地A=15.49haの森林整備を実施しました。 ・集落周辺A=5.52haの森林整備を実施しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度 令和4年度
	作業路の整備延長	L=980m (令和2年度)	L=770m

コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)		19,160		千円			千円		
	内訳	国県支出金 ①	15,705		千円			千円		
		地方債 ②	0		千円			千円		
		その他特財 ③	0		千円			千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	3,455		千円	0		千円		
	国県支出金の内容		神奈川県協力協約推進事業補助金 補助率90% (作業路) 補助率80% (森林整備) 神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金 補助率100%							
	その他特財の内容	受益者負担	☐ 有 ☒ 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.37	人	3,027	千円		人		千円
		その他の職員	0.37	人	1,125	千円		人		千円
		人件費合計 (b)	0.74	人	4,152	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)		23,312		千円	0		千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位	
対象数			101,381		人					
		総事業費／対象数	230		円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☒ 計画どおり (A) ☐ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	・作業路の整備計画延長L=700mに対し、L=770mの整備を行いました。また、作業路を活用した協力協約締結地の森林整備や、集落周辺の森林整備を効率的に行うことができました。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☒ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☐ 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	・神奈川県標準単価を使用していることから、他市と同水準での事業実施が行えています。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記判断理由	作業路の整備により、林業機械の導入が可能となり、林業作業の効率化、生産性の向上につながる等、有効な森林整備を行うことができました。また、集落周辺の森林整備を行ったことで、有害鳥獣の出没抑制の効果が期待されます。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	・森林施業に従事している森林組合に本事業を委託することで、効率的に実施することができました。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上継続	事業推進上の課題	・森林において、事業を実施するためには地権者の同意が必要不可欠となります。整備箇所によっては地権者数が多数となることから、同意を得る作業に時間を要します。
令和4年度取組方針		・森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。		
所管部長による総評		森林の持つ多面的機能(土砂災害の防止・水源涵養など)を発揮させるためには、適切な森林施業を継続的に実施する必要があります。このため、作業路の整備や森林整備は必須であり、今後も計画的に推進していく必要があります。		